

広がる緑といきものを守る活動

豊かな自然がいつまでもあり続けるため、傷ついた自然を回復させるため、数が減ってしまったいきものを再び自然にもどすため、全国で緑といきものを守るためのとりくみが広がっています。



写真提供：小宮輝之／上野動物園

コウノトリ
野生にもどすために、育てたコウノトリを放しています。2010年9月までに27羽のヒナが生まれ、巣立ちました。



トキ
野生にもどすために、育てたトキを放しています。2010年に6組のペアが巣をつくっていました。ヒナが産まれることが期待されます。



ツシマヤマネコ
対馬だけに生息する野生のネコ。交通事故などで減少しています。事故の防止などがとりくまれています。



イリオモテヤマネコ
西表島だけに生息する野生のネコ。現在、約100頭しかいないため、生息環境が大切に保護されています。



ヤンバルクイナ
沖縄県北部のやんばる(山原)地域だけにすむ飛べない鳥です。ヤンバルクイナを食べてしまうマングースを排除しています。



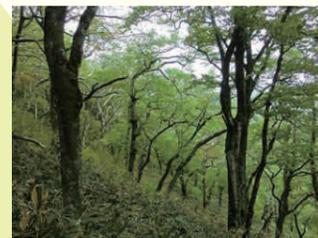
写真提供：小宮輝之／上野動物園



世界自然遺産 屋久島
樹齢数千年のヤクスギをはじめ、多くのめずらしいいきものがすんでいる豊かな自然が残っています。



世界自然遺産 白神山地
秋田県と青森県の県境にあり、原始状態のブナ林が残り、さまざまないきものがすむ世界的にもめずらしい森林です。



奈良県 大台ヶ原の自然回復
シカに木や草が食べられることにより、森が弱っています。自然が回復するように手助けしています。



アホウドリ
伊豆諸島の鳥島にごく少数しかいませんでした。さまざまな保護活動をして今では約2,600羽まで増えました。



写真提供：長谷川博／東邦大学

釧路湿原の自然回復
日本で一番大きい湿原です。乾燥により湿原が減っています。自然が回復するように手助けしています。



世界自然遺産 知床半島
原始状態が残っている地区として保護されています。ヒグマなど多くのいきものがすんでいます。



シマフクロウ
大変大きなフクロウ。日本には約100羽しかいません。大切に保護しています。

